

# 佐賀県窯業技術センター

SAGA CERAMICS RESEARCH LABORATORY

- 研修案内 -



# 『成形コース』 開講のお知らせ

生地製造業、石膏型製造業の後継者不足に対応するために、「成形コース」をスタートしました。

このコースでは、石膏型を用いた成形技法（排泥鑄込みや機械ろくろなど）を中心に実習を行います（成形実習）。また、石膏型の知識・技術を持った成形技術者を育成することを目的に、石膏型実習（陶磁器実習 II）も行います。



◎月曜日～金曜日／8:50～16:10

[時間割例]

	月	火	水	木	金
1	成形実習	選択実習	成形実習	成形実習	セラミック実習 II
2					
3	陶磁器実習 II		陶磁器実習 II		有田学
4	陶磁器		陶磁器		

## ●成形実習

石膏型を用いた成形技法（排泥鑄込みや機械ろくろなど）を学びます。  
外部講師として、ベテランの生地職人を招聘する予定です。

## ●陶磁器実習 II

圧力鑄込み用、排泥鑄込み用それぞれの成形に必要な原型、捨て型、ケース型、使用型などの製作手法を習得する。

## ●セラミック実習 II

セラミック実習 I で得た知識を応用する。色釉実習・ゼーゲル式を用いた釉薬調合実習・釉薬開発他。

## ●選択実習

ろくろ、絵付、CAD など各自必要な実習を選んで、技術の向上をめざします。

## ●有田学

陶磁史から肥前地区のやきものの基礎知識を身につける。窯元、企業等の見学とおして、現場の声や状況を知る。

◎コース定員

1期 2名（年間4名）

◎受講料

¥64,800円（6ヶ月）

\*令和7年度4月期予定額です。

令和7年3月に正式に決定します。



# General Training

## 一般研修

江戸時代初期、日本で初めて磁器の原料となる泉山陶石が有田で発見され、伊万里・有田焼の生産が始まりました。

以来、日本の陶磁器産業を牽引してきた有田で、次世代を担う人材を育成する研修を実施しています。

肥前陶磁器業界に従事しようとする方を対象に、ろくろ、絵付、型製作、成形などの技術研修の場を提供し、伝統の継承と産業へ貢献できる人材の育成を目指します。



沿革

平成28年4月 研修事業開始  
令和3年4月 基礎コースを新設



## 未経験からの研修受講イメージ

コースを選んで、あなたに必要な技術を習得できます。

目指す職業に必要な技術と知識を選択し、学べるカリキュラム!!

未経験の方は基礎コースからスタートし、各コースを選んで技術向上できます。

一人ひとりの能力を最大限に伸ばし、業界に貢献できる人材を育てます。



※研修期間 各6ヶ月



# 基礎コース

未経験から肥前陶磁器業界で活躍できる人材を育成するために「つくること」と「知ること」に主眼をおいたカリキュラムで、やきものの製造プロセス全体を見渡せるように編成しています。

◎月曜日～金曜日／8:50～16:10

## [時間割例]

	月	火	水	木	金
1	ろくろ実習Ⅰ	陶磁器 実習Ⅰ	陶磁器 実習Ⅰ	絵付実習	製図／素描
2		セラミック 実習Ⅰ	装飾技法		
3					有田学
4					

### ● 陶磁器実習Ⅰ

圧力鑄込み、排泥鑄込み用石膏型製作の基礎。形をそれに応じた方法で成形する技術を身につける。

### ● 絵付実習

伝統的な磁器の下絵付に用いる絵具の溶き方、手回しろくろを用いての中心取りから線引き、線描き、濃みによる基礎技術を習得する。

### ● 製図

基礎製図と器物製図を通して図面に表現できる能力、図面を読む能力を養う。

### ● 装飾技法

陶磁器の装飾に使われる様々な技法を学ぶ。

### ● ろくろ実習Ⅰ

伝統的な磁器の水挽きろくろ成形により決まった形(ハマ、煎茶碗)を量産できる技術を習得し、回転体を仕上げる作業に慣れる。

### ● 素描

自然物や器物を観察し、デッサンをとおして、対象を深く理解する能力を養う。

### ● セラミック実習Ⅰ

陶磁器原料の種類と特性および焼成による変化について、科学的に理解する。

### ● 有田学

陶磁史から肥前地区のやきものの基礎知識を身につける。窯元、企業等の見学をとおして、現場の声や状況を知る。

特別講座期間(17週日以降)には、次の進路(製造技術・絵付・ろくろ)に合わせた実習を行います。

- 製造技術コース …………… 石膏ろくろ実習、CAD(ライン/セラス)実習、転写実習
- 絵付コース …………… 墨はじき、色呉須を用いた下絵付技法
- ろくろコース …………… ろくろ型打ち、片切り彫りなど



# 製造技術コース

量産のために必要な型の製作から成形、装飾、CAD等、  
陶磁器製造プロセス全般を通じた技術を学びます。  
欲張りで忙しいコースです。

◎月曜日～金曜日／8:50～16:10

[時間割例]

	月	火	水	木	金
1	CAD/CAM	選択実習	陶磁器実習 II	装飾実習	セラミック実習 II
2				実習 陶磁器 II	実習 陶磁器 II
3					
4					

## ●陶磁器実習 II

圧力鑄込み用、排泥鑄込み用それぞれの成形に必要な原型、捨て型、ケース型、使用型などの製作手法を習得する。

## ●装飾実習

素地、釉薬、絵具による量産のためのさまざまな加飾技法を習得する。

## ●セラミック実習 II

セラミック実習 I で得た知識を応用する。色釉実習・ゼーゲル式を用いた釉薬調合実習・釉薬開発他。

## ●CAD/CAM

CAD(Rhinoceros)、3Dプリンター、モデリングマシンを活用した陶磁器の設計、製造に関する基礎的な技術を学ぶ。







# 🎯 ろくろコース

一級技能士や伝統工芸士の指導により、ろくろ成形プロセス全般を通じた技術の習得を目指します。

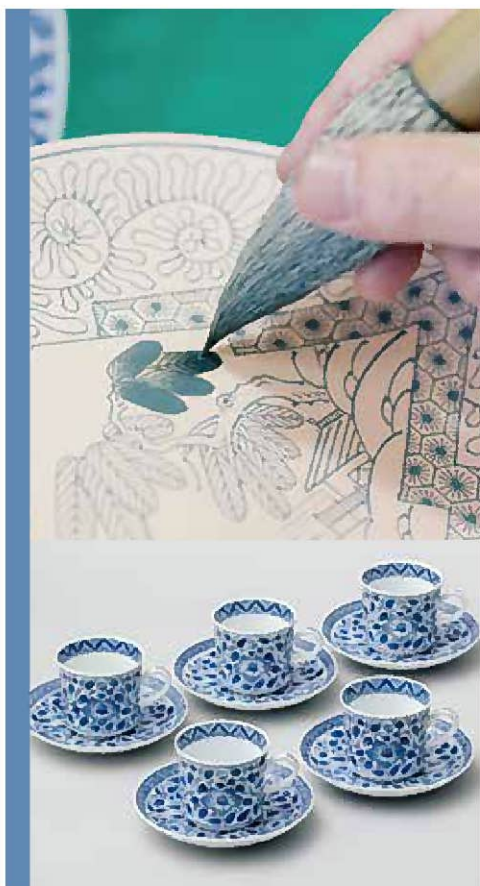
◎月曜日～金曜日／8:50～16:10

[時間割例]

	月	火	水	木	金
1	ろくろ実習Ⅱ	ろくろ実習Ⅱ	ろくろ実習Ⅱ	ろくろ実習Ⅱ	セラミック実習Ⅱ
2					
3	ろくろ実習Ⅱ	ろくろ実習Ⅱ	ろくろ実習Ⅱ	ろくろ実習Ⅱ	有田学
4					

## ●ろくろ実習Ⅱ

伝統的な磁器の水挽きろくろ成形により決まった形の物を量産できる技術を取得する。  
蓋付飯碗 湯呑 五寸鉢 など ※課題内容は、研修生の技術習得程度に応じます。



# 🎨 絵付コース

伝統工芸士の指導により、伝統絵付を主とした技法を学びます。  
下絵付や上絵付、染錦の技術習得を目指します。

◎月曜日～金曜日／8:50～16:10

[時間割例]

	月	火	水	木	金
1	絵付実習Ⅱ	絵付実習Ⅱ	絵付実習Ⅱ	絵付実習Ⅱ	セラミック実習Ⅱ
2					
3	絵付実習Ⅱ	絵付実習Ⅱ	絵付実習Ⅱ	絵付実習Ⅱ	有田学
4					

## ●絵付実習Ⅱ

伝統的な磁器の下絵付・上絵付に用いる絵具の溶き方、線描き、濃みによる基礎技術を取得する。  
※課題内容は、研修生の技術習得程度に応じます。



# Facilities & Equipment

## 充実した施設・設備

ろくろコースでは電動ろくろ、絵付コースでは作業机がひとり一台完備されています。  
製造技術コースでは、石膏ろくろや3Dプリンターなど充実した設備でしっかり学べます。



モデリングマシン

### CAM室

主な設備

PC、モデリングマシン



### 絵付室

下絵付・上絵付の研修を行います。

主な設備

絵付台、投影台、恒温機



3Dプリンター



### PC室

CGデザイン、3Dデータをつくれます。

主な設備

PC、3Dプリンター、大判プリンター、ストロボ、デジタル一眼レフカメラ、スキャナー、カッティングプロッター

### 佐賀県窯業技術センター 研修棟



機械ろくろ



### 成形室

水挽きろくろ成形や石膏型を用いての各種成形を行います。

主な設備

電動ろくろ、機械ろくろ、圧力鑄込装置、真空土練機、たたら成形機



### 窯室

陶磁器焼成を行います。

主な設備

0.3 m<sup>3</sup>ガス窯、12KW電気窯2台、15KW電気窯



### 理化学室

釉薬の調合や原料の実験を行います。

主な設備

自動ライカ機、6KW電気窯



### 加飾室

装飾技法や素描、製図の実習や有田学などの講義を行います。



### 石膏室

図面をもとに量産のための石膏型製作を行います。

主な設備

石膏ろくろ、石膏真空脱泡攪拌機、フライス盤、サンドブラスター



## 修了生からのメッセージ

現在私は、実家の窯元で、釉がけや削り、窯詰などの製造工程全般を担当しています。特に忙しいところにサポートに入り、生産ラインが滞らないように気にかけています。

他にも販売関係では、商品の問い合わせに対応しています。最近は海外からの問い合わせもあり、資料を作成して、サンプルを用意します。CADで作った原形データを、自社にある3Dプリンターで出力して、簡易的な石膏型を作り、成形して焼成。全て自分でできるので、スピーディーにお客様にサンプルを提案できるようになりました。自分がデザイン・設計した商品が、量産されて販売されるわけですから、気は抜けませんが、とてもやりがいを感じています。

私はもともと大学卒業後、東京の陶磁器販売の商社に勤めていました。その後、有田に戻って家業を継ぐ前に、窯業技術センターの製造技術コースに進みました。続けて2期学んで、やきもの作りの流れがわかるようになり、今の仕事に活かしていると実感します。窯業技術センターには、やきものに関する様々な専門家がいて、環境も整っています。みなさんも自分の目標をもって学んで、知識や技術をしっかり身につけてください。



山本 晃平 平成30年度修了

有限会社 やま平窯元

私は、石膏型をNC切削機で削り出すためのデータ作りを担当しています。まだ、就職したばかりなので、CAMソフトの勉強をしながら、機械の掃除や切削の準備をしています。求める形状を3Dデータで作るには、型の制約などいろいろな条件がでできます。どう作ったら一番望む形になるのかを考えるととても難しいのですが、パズルをしているような感覚で、パチリとはまったときは達成感があります。

窯業技術センターの石膏型製作と転写の実習では、直接職人さんから学べるまたない機会でも、とても勉強になりました。大学時代にもやきものを学んでいましたが、転写は経験していなかったので、デザインデータから作る機会があったのは幸運でした。実際に自分で設計したものを先生たちの意見を聞きながら製作した石膏型の実習も、今後の仕事をするうえで、とても役に立つ内容でした。

やりたいことを持って勉強するには、窯業技術センターはとても充実した環境です。1期は6か月と短いですが、みなさんも、やりたいと望めば本当に無理なもの以外は、先生たちも応援して下さると思います。



向窪 梨乃 令和2年度修了

株式会社 ARITA PLUS



## 一般研修の募集案内

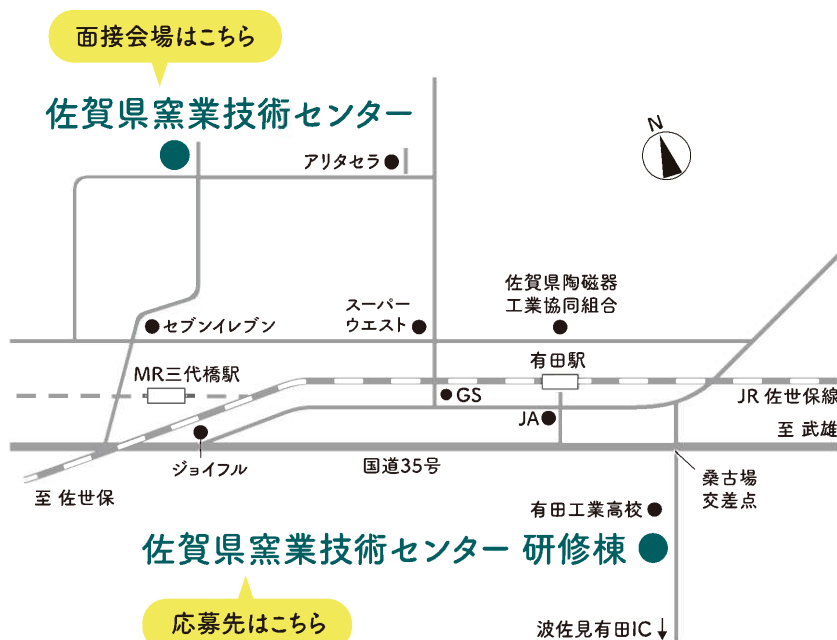
募集人数 4月期／10月期 各20名(4コース計)

募集期間 ●4月期:毎年1月頃 ●10月期:毎年7月頃

応募要件 肥前陶磁器業界への就業を希望する人

応募方法 Web または 書類

選考方法 書類による一次審査のあと、面接による二次審査を行う



## 佐賀県窯業技術センター 窯業人材課

〒844-0013 佐賀県西松浦郡有田町大野乙 2441-1

TEL.0955-42-3144

FAX.0955-42-6552

<https://www.scrl.gr.jp/main/47.html>

佐賀県窯業

検索

Webサイト



Instagram

